

Y大先生

昭和女子大学附属昭和小学校教頭

小泉 清裕

きよひろ

Y大先生に出会ったのは、私が大学院で学んでいた時である。この時Y大先生はすでに六十歳を過ぎていただろう。Y大先生の授業は金曜日の午後一時から開始されたが、規定の終了時刻はなかった。強いて言えば、Y大先生が帰宅する終電車の十五分ほど前が、その日の終了の時刻だった。もちろん、Y大先生がその時刻まで授業をすることを望んでいたわけではなく、私たち数名の学生がその日の課題を完成すればいつでも終わることができた。

しかし、その課題は先生が一週間かけて準備してきたものであり、もう少し長く学生時代を謳歌したくて大学院に進んだ私のような学生にとって、決して歯が立つような課題ではなかった。私たちが辞書をめくりながら苦心^{くしん}悩^{なや}んでいる時に、Y大先生は黒板の前にある椅子に腕

を組んで座り、私たちの課題の終了を、何もしないでただじっと待ち続けていた。夕食も食べずにひたすら待ち続けていたのだ。

終電車の時刻になり、やむなく解散して帰宅した後、真夜中にY大先生から「私はこれから寝るから、答えが出てからもう電話をしないでほしい」という電話がかかってきたことがある。どうもY大先生は、とつくに日付が変わってから帰宅した後も、私たちが課題に取り組み続けていると思っていたのだろう。後でわかったことだが、Y大先生は帰宅後電話の前に正座して、私たちからその日の解答が来るのを待っていたそうである。Y大先生から電話がかかってきた時、当然のことながら、私はすでに布団に入ってしまったと眠っていた。

ある日、私鉄各社がストライキを行い、当

一人だと思っている。Y大先生は、誰でも一度読んだ文章は覚えるものと疑わなかったし、人が話したことやニュースになった出来事は事細かにすべてを記憶しているものと信じていた。そして、Y大先生自身はまさしくそれをしてきた。ことばだけでなく、大好きな中日ドラゴンズの歴代の打者の終世打率やピッチャーの勝利数など、数字についても極めて正確に覚えていた。そして、誰もが自分と同じだと信じて課題を用意していたのだ。

私は、大学、大学院時代に、Y大先生以外にもたくさんのおられた、尊敬する先生に出会うことができた。しかし、Y大先生ほど、「教えること」にこだわった先生はいなかった。大きな辞書がすっぽりと頭の中に入っているような、あれだけの知識があるならば、その知識を本にして後世に残す仕事をするべきだったはず。悠悠自適に自分の時間を持つてもよかつたはずである。

それなのに、Y大先生は「教えること」に終始した。そして、授業をしているのだから、本など書いていない間はないと言明していた。本として残さないならば、誰かの頭に電極でもつけて、その知識を転送しておくことはできないだろうかと私は真剣に考えた。もちろん私の頭ではデータが膨大すぎて、入ることは不可能である。

すでにY大先生の授業を受けてから三十年以上が過ぎた。時々、今でも金曜日になると、Y大先生の当時の姿とともに、課題が終わらない失望感、Y大先生の期待に添えないもどかしさ、そして、物理的な体の疲れなどが混じった、情けない自分の姿を思い出す。それでも当時は必死になって課題に取り組んでいた。しかし、Y大先生が課題として出してくれたものが何であったか、残念ながら今ではほとんど覚えていない。

Y大先生が授業を通して私に教えてくれた最大のこととは、「教えること」とは何かということである。そして、「教わること」とは単に知識や技術の習得だけでなく、その奥にある、教える人の願いや情熱を感じること、すなわち、教える人の「心」に触れることだということも同時に教わった。

Y大先生との出会いが私を教師の道に進ませ、そして、先生への恩返しへの気持ちを含めて、今、目の前にいる子どもたちと向かい合っている。

然、授業はないものと私は信じて自宅にいた。

その時、Y大先生が教室で学生を待っていると電話連絡が助手の一人から入った。電話の直後にあわてて大学に向かったことを覚えていた。Y大先生はストライキを行っていない路線の駅まで一時間以上歩き、その駅から大学までやってきたのだ。

また、ある時、Y大先生は駅で電車に乗ろうとした際、うっかり靴を電車とホームの間の溝に落としてしまい、靴がぬれてしまったことがある。なんとY大先生は、片方の足には靴を履き、もう片方の足には駅で借りたサンダルを履いて教室にやってきた。授業に間に合わなくなったので、新しい靴を買ってくる時間がなかったと言っていた。

私はY大先生を「天才」と呼ぶに値する人の



小泉 清裕 (こいずみ きよひろ)

1951年、山梨県生まれ。英語教師として幼稚園から大学まで幅広い指導経験をもち、現在も幼稚園、小学校、大学で教鞭をとっている。NHK教育テレビ『スーパーえいごリアン』企画委員。日本児童英語教育学会 (JASTEC) 副会長。光村図書中学校英語教科書『COLUMBUS 21 English Course』、小学校英語活動用テキスト『JUNIOR COLUMBUS 21』編集委員。